

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもとメディアについて教えるメディアインストラクター養成事業
事業主体 (連絡先)	子どもとメディア信州 代表 松島恒志 090-4224-7571 komessin7@gmail.com
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	566,270円 (うち支援金: 442,000円)

事業内容

8月3、4日、12月14、15日、1月18、19日の計6日間の講座で「子どもとメディアについて教えるメディアインストラクター」を31名を養成した。小児科医師、メディアの専門家、情報の専門教諭らを講師に、子どもの健康・発達に及ぼす影響と課題、子ども・保護者等対象者に合わせた啓発の仕方について学んだ。

講座ごとに宿題が出され、受講生たちは個人で、グループで、宿題に取り組んだ。宿題の成果を全体の前で発表し、意見交換し、最終の講座では、ひとりひとりが自らの力でパワーポイントを作成し、啓発活動のスキルを磨いた。主催である当団体のスタッフも、受講生の熱意に大きな感動と学びを得た。

事業効果

これまで子どもとメディアの適正な使い方について話せる啓発者の少なかった長野県に、当団体で養成したメディアインストラクターの卵が31名誕生した。

早速2年度から、県の性被害防止ネットキャラバン隊や松本市の小中学校で開催されるメディアリテラシー講座の講師依頼も受けている。今年度年間100件を超える講演を実施してきた当団体だが、2年度は150件を超えると見込まれる。インストラクターは、医師、保育士、教員、養護教諭、福祉施設職員等、日頃から青少年育成に関わる仕事に就いている者が多い。身近なところから草の根的に、啓発が広がることを期待する。

今後の取り組み

今後は今回養成したインストラクターたちのフォローアップが重要な課題である。常に学習し、最新情報をもって講演ができるよう、定期的にスキルアップ研修を実施したい。県内各地から多数の講演依頼があるので、インストラクターたちを学校に紹介し、啓発活動を広めたい。

今回、松本地域発の元気づくり支援金を得て、養成講座を実施し、松本市在住のインストラクターが大勢育った。講演依頼は県内各地から届くため、今後は、松本市の周辺部、山間部、南信等の依頼に応えられるように、養成講座の参加者を広域的に集めたい。今年度もPTA 联合会や保育園連盟、県教育委員会、県次世代サポート課、自治体等と連携を図ったが、今後はさらに県内の青少年育成に関わる様々な団体と連携を図っていききたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【学習の様子】

【目標・ねらい】

子どもとメディアについて正しい知識を伝えられるメディアインストラクターを養成し、松本地域を中心に県内の幼保小中高等学生・保護者に啓発活動が推進されること。

※自己評価【A】

【理由】

31人のメディアインストラクターの卵を養成できたこと。6日間の講座は時間的にも内容的にも負担が大きいため当初は受講生の半数程度しか修了できないと考えていた。予想より多く修了できた。